

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）  
分担研究報告書

生活・療養環境による要望特性に応じたがん情報提供・相談支援体制の在り方：  
地域ニーズの検証と活性化人材の育成と普及に関する研究  
- がん診療連携拠点病院におけるがん情報提供・相談支援の実効性解析、  
その有効性向上モデルの検討 -

研究分担者 藤 也寸志 国立病院機構九州がんセンター・院長

**研究要旨**

「がんに関する相談支援と情報提供」の推進は重要な課題と認識されながらも、がん相談支援センターの国民への認知は十分には進まず、またその実情は施設間や地域間で大きく異なっている。本研究では、地域の相談支援・情報提供体制を効率化するために不可欠な人材（がん医療ネットワークナビゲーター：がんナビ）の育成を通じて、相談支援・情報提供体制の在り方を考え、療養を含めた地域情報づくりのモデル等を提案することである。本年度は、昨年度施行した7都道府県におけるアンケート調査による相談支援・情報提供体制に関する地域ニーズの抽出に引き続いて、アンケート回答施設への聞き取り調査を行い施設別のニーズの深掘りを行った。また、がんナビの育成のために、その理解と協力が不可欠であるがん診療連携拠点病院とがん専門相談員への周知のために、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会の相談支援・情報提供部会などにおいて協力依頼を行った。さらに、福岡県におけるがんナビ育成に関する活動を継続した。これらの活動は、分担研究項目であるがん診療連携拠点病院におけるがん情報提供・相談支援の実効性解析、その有効性向上モデルの検討を行うために必須のステップである。

**A. 研究目的**

- 1) 医療と介護の間、また地域間で異なるがん情報の多様なニーズに適切かつ迅速に対応できる「地域完結型相談支援・情報提供体制」の確立を目指す。その前提として必要とされる「がんの相談支援や情報提供に関する地域や施設によって異なるニーズや問題点」を明らかにする。
- 2) 地域の情報提供・相談支援体制とこれを補強する人材養成プログラムとを検証し、地域ニーズの抽出に基づく相談支援・情報提供体制の在り方、これを効率化する人材の育成と介入モデル、療養を含めた地域情報づくりモデル等を提案する。

**B. 研究方法**

- 1) 福岡県がん診療連携拠点病院が中心となるがん診療連携協議会等において、聞き取り調査等を実施し、がん情報提供・相談支援に関する課題、相談内容について整理する。
- 2) 昨年度に実施したがん診療連携拠点病院（以下、がん拠点）の相談支援センター/地域統括相談支援センター/医療・ケアネットワーク等を対象としたアンケ

ート調査への回答施設に依頼し、相談支援や情報提供に関する回答内容の更なる確認や施設での困り事などについて、インタビュー調査を行う。

- 3) がん医療ネットワークナビゲーター（以下、がんナビ）養成プロジェクト（H26-がん政策-一般-007）でモデル事業の対象県である福岡県において、養成のためのシステム作りを模索し、さらに養成したがんナビの活躍の場を提供できる体制の構築を開始した。また、がん拠点やがん専門相談員へのがんナビの周知活動を行うことで、がんナビ育成と活動の全国への展開を進めた。

**（倫理面への配慮）**

本研究では介入試験は行わないが、モデル事業における評価は疫学研究の対象になると考えられ、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守してこれを行う。

**C. 研究結果**

- 1) 福岡県がん診療連携拠点病院が中心となるがん診療連携協議会等において、聞き取り調査等を実施し、がん情報提供・相談支援に関する課題、相談内容の特性を明らかにした。

- 2) 福岡県 521 施設へアンケートを送付した結果、222 施設から回答を得た(回収率 46.8%)。回答施設へのインタビュー調査を依頼したところ、福岡県で 27 施設の協力が得られた。その施設は県内の広い地域にまたがり、種別はがん拠点・在宅医・地域ホスピス・訪問看護ステーション・地域包括支援センター・図書館・患者会など広範囲に及んだ。全国 7 都道府県での同様の取り組みが行われ、その結果は主任研究者・分担研究者から報告がなされる。
- 3) 福岡県における保険調剤薬局や図書館司書などを対象にがんナビの周知活動を継続した。その結果、がんナビ取得の第一ステップである癌治療学会の e-ラーニング受講者数が 100 人以上と急激に増加した。セカンドステップであるコミュニケーション技術研修会を年内に 2 回福岡県で開催する予定である。福岡県がん拠点が中心となるがん診療連携協議会とその相談支援・情報提供関連の部会での周知と協力依頼を昨年引き続き行いながら、がん専門相談員の連絡会にがんナビも参加してもらい両者の交流を開始した。また、癌治療学会におけるがんナビ養成のための多くの会議に出席し意見を述べるとともに、都道府県がん診療連携拠点病院連絡協議会やその中の相談支援・情報提供部会などにおいて、その活動の意義を 3 度にわたって説明して人材育成への協力依頼を行った。

#### D. 考察

福岡県での広域にわたる広範囲の医療・介護関連施設や患者会へのインタビュー調査の結果から考察すると、介護関連施設において、医療側からだけでは想像できなかった「がん情報の不足」が明らかになった。がんに関する情報をどのように収集し要介護者達に提供するかについて困窮している問題点が浮上し、がん相談支援センターだけでなく、がんナビ自体を介護福祉関係者や国民へ周知することも必須であることがわかった。さらに、がん相談員やがんナビのように受動的(アクセスを待つ)でなく、能動的に国民にがん情報を提供するシステムも望まれるのではないだろうか。

現在のがん拠点における相談支援・情報提供に関わる人員配置の現実、年々高まるニーズに対応するには不十分であり、病院経営の厳しさもあって更なる強化も望めない状況である。このために、市井にあってがん専門相談員へのサポートまたは橋渡しができる人材(がんナビ)の育成が急務であり、この点に本研究の最大の意義がある。そのための活動は、地域間や施設種別間の実

情の大きな差を考慮しながらも、全国展開をしていかなければならない。福岡県では保険調剤薬局薬剤師を中心とした情報提供を行うことで、がんナビ取得の第一ステップを開始した人が爆発的に増加した。彼らのがんナビ認定取得をサポートする体制を構築していく必要がある。福岡県では、全国のモデルとなることができるような活動をしていく予定である。

一方で、がんナビが養成された場合には、その活動の質を維持する仕組みが必要であり、それにはがん拠点のがん専門相談員との定期的な交流が必要不可欠である。それは、がんナビの相談相手の確保や実際のがん患者のがん相談支援センターへのアクセスの橋渡しにも必須の要件である。このためには、がん拠点側の理解を求めていくことがナビ養成の全国展開には必要であることを意味している。結果で述べた全国の都道府県がん拠点へのアクションの他に、地域がん拠点も多く集まるがん専門相談員による「九州・沖縄地域がん情報支援フォーラム」においても周知・依頼活動を行った。

#### E. 結論

本研究の目的を達するためには、まずがんナビを全国へ展開すること、そしてがん拠点との共同体制の確立が必要である。さらには、医療側だけでなく介護側へのがん情報の提供は喫緊の課題である現状が浮き彫りになった。

#### F. 研究発表

##### 1. 論文発表

- 1) 藤也寸志,北川雄光,丹黒章,松原久裕. 特別企画「診療ガイドラインの再評価-今後の方向性-」食道癌診療ガイドラインのあり方に関する考察と今後の方向性. 日本外科学会雑誌 119(5):569-571, 2018
- 2) 藤也寸志,中司悠,中ノ子智徳,杉山雅彦,太田光彦,池部正彦. 食道癌/新規治療開発研究. 日本臨牀 食道癌(第2版), 76 Suppl 8:466-473, 2018
- 3) 森田勝,杉山雅彦,太田光彦,池部正彦,藤也寸志. 食道癌の罹患率と死亡率の現況(海外). 日本臨牀 食道癌(第2版), 76 Suppl 8:38-44, 2018
- 4) Yamamoto M, Shimokawa M, Kawano H, Ohta M, Yoshida D, Minami K, Ikebe M, Morita M, Toh Y. Benefits of laparoscopic surgery compared to open standard surgery for gastric carcinoma in elderly patients: propensity score-matching analysis. Ann Surg Oncol. 2018 Oct;25(11):3280-3287. doi:

- 10.1245/s10434-018-6656-6. Epub 2018 Jul 26.
- 5) Yoshida N, Yamamoto H, Baba H, Miyata H, Watanabe M, Toh Y, Matsubara H, Kakeji Y, Seto Y. Can Minimally Invasive Esophagectomy Replace Open Esophagectomy for Esophageal Cancer? Latest Analysis of 24,233 Esophagectomies From the Japanese National Clinical Database. *Ann Surg.* 2019 Jan 31. doi: 10.1097/SLA.0000000000003222. [Epub ahead of print]
  - 6) Motoyama S, Maeda E, Yano M, Yasuda T, Ohira M, Doki Y, Toh Y, Higashi T, Matsubara H; Japan Esophageal Society. Appropriateness of the institute certification system for esophageal surgeries by the Japan Esophageal Society: evaluation of survival outcomes using data from the National Database of Hospital-Based Cancer Registries in Japan. *Esophagus.* 2019 Jan;16(1):114-121. doi: 10.1007/s10388-018-0646-4. Epub 2018 Oct 15.
  - 7) Kitagawa Y, Uno T, Oyama T, Kato K, Kato H, Kawakubo H, Kawamura O, Kusano M, Kuwano H, Takeuchi H, Toh Y, Doki Y, Naomoto Y, Nemoto K, Booka E, Matsubara H, Miyazaki T, Muto M, Yanagisawa A, Yoshida M. Esophageal cancer practice guidelines 2017 edited by the Japan esophageal society: part 2. *Esophagus.* 2019 Jan;16(1):25-43. doi: 10.1007/s10388-018-0642-8. Epub 2018 Aug 31.
  - 8) Kitagawa Y, Uno T, Oyama T, Kato K, Kato H, Kawakubo H, Kawamura O, Kusano M, Kuwano H, Takeuchi H, Toh Y, Doki Y, Naomoto Y, Nemoto K, Booka E, Matsubara H, Miyazaki T, Muto M, Yanagisawa A, Yoshida M. Esophageal cancer practice guidelines 2017 edited by the Japan Esophageal Society: part 1. *Esophagus.* 2019 Jan;16(1):1-24. doi: 10.1007/s10388-018-0641-9. Epub 2018 Aug 31.
  - 9) Committee for Scientific Affairs, The Japanese Association for Thoracic Surgery, Masuda M, Endo S, Natsugoe S, Shimizu H, Doki Y, Hirata Y, Kobayashi J, Motomura N, Nakano K, Nishida H, Okada M, Saiki Y, Saito A, Sato Y, Tanemoto K, Toh Y, Tsukihara H, Wakui S, Yokomise H, Yokoi K, Okita Y. Thoracic and cardiovascular surgery in Japan during 2015 : Annual report by The Japanese Association for Thoracic Surgery. *Gen Thorac Cardiovasc Surg.* 2018 Oct;66(10):581-615. doi: 10.1007/s11748-018-0968-0.
  - 10) Sugimachi K, Sakimura S, Kuramitsu S, Hirata H, Niida A, Iguchi T, Eguchi H, Masuda T, Morita M, Toh Y, Maehara Y, Suzuki Y, Mimori K. Serial mutational tracking in surgically resected locally advanced colorectal cancer with neoadjuvant chemotherapy. *Br J Cancer.* 2018 Aug;119(4):419-423. doi: 10.1038/s41416-018-0208-5. Epub 2018 Aug 3.
  - 11) Yamaguchi S, Morita M, Yamamoto M, Egashira A, Kawano H, Kinjo N, Tsujita E, Minami K, Ikebe M, Ikeda Y, Kunitake N, Toh Y. Long-Term Outcome of Definitive Chemoradiotherapy and Induction Chemoradiotherapy Followed by Surgery for T4 Esophageal Cancer with Tracheobronchial Invasion. *Ann Surg Oncol.* 2018 Oct;25(11):3280-3287. doi: 10.1245/s10434-018-6656-6. Epub 2018 Jul 26.
  - 12) Tachimori Y, Ozawa S, Numasaki H, Ishihara R, Matsubara H, Muro K, Oyama T, Toh Y, Udagawa H, Uno T; Registration Committee for Esophageal Cancer of the Japan Esophageal Society. Correction to: Comprehensive Registry of Esophageal Cancer in Japan, 2011. *Esophagus.* 2018 Oct;15(4):304-305. doi: 10.1007/s10388-018-0624-x.
- ## 2. 学会発表
- 1) 渡邊 清高, 調 憲, 浅尾 高行, 相羽 恵介, 佐々木 治一郎, 藤 也寸志, 竹山 由子, 片渕 秀隆, 境 健爾, 吉田 稔, 矢野 篤次郎, 加藤 雅志, 富田 尚裕, 西山 正彦. 6 都県における情報提供と相談体制がん医療ネットワークナビゲーターの普及に向けて. 第 56 回日本癌治療学会学術集会, 横浜, 2018.10.19
  - 2) Toh Y. Case Presentation. Plenary session: Challengers for cT4 Esophageal Cancer -Conversion From "Care" to "Cure", Internatl Soc for Dis of the Esophagus 2018 World Congress, Vienna, 2018.9.17
  - 3) Morita M, Kagawa M, Nakaji Y,

Sugiyama M, Yoshida D, Ota M, Ikebe M, Taguchi K, Toh Y. Clinical Characteristics and Treatment of Neuroendocrine Carcinoma of the Esophagus. Internatl Soc for Dis of the Esophagus 2018 World Congress, Vienna, 2018.9.18

- 4) Ikebe M, Ohta M, Sugiyama M, Morita M, Toh Y. Neoadjuvant Chemotherapy Plus Surgery for Non-T4 cStage II/III Esophageal Cancer. Internatl Soc for Dis of the Esophagus 2018 World Congress, Vienna, 2018.9.18
- 5) Kato K, Igaki H, Ito Y, Nozaki I, Daiko H, Yano M, Nakagawa S, Takagi M, Tsunoda S, Abe T, Nakamura T, Hihara J, Toh Y, Shibuya Y, Mizusawa J, Katayama H, Nakamura K, Kitagawa Y, Japan Esophageal Oncology Group of Jpan Clinical Oncology Group (JCOG) Japan. Parallel-group controlled trial of esophagectomy versus chemoradiotherapy in patients with clinical stage 1 esophageal carcinoma (JCOG0502). Rapid Abstract Session A: Cancers of the Esophagus and Stomach, ASCO-GI 2019, San Francisco, 2019.1.17 **G** .

**G . 知的財産権の出願・登録状況**  
当該研究に関する出願・登録なし